

平成30年度 幼小中高校長会議での教育長挨拶

山形市教育長 荒澤 賢雄

平成30年度の山形市幼・小・中・高等学校長会議にあたり、山形市の学校教育について年度初めの所感を述べさせていただきます。

はじめに、東日本大震災並びに原子力発電所事故から7年が経過いたしました。被災地の真の復興にはまだまだ時間がかかるようです。息の長い丁寧な支援を続けていくことが私達の役割であろうと思います。山形市には、今年度も県外からの避難児童生徒が、小・中・山商合わせて210名在籍しております。今後とも、いのちの教育を推進している山形市として、責任を持って対応しなければならないと思っております。特に、避難児童生徒が在籍している学校におかれましては、どうぞよろしくお願いいたします。

さて、新年度が順調にスタートしました。どの学校も新入学児童生徒や新たな教職員を迎え、新鮮で爽やかな空気に包まれながら、希望に満ちた学校生活を過ごしておられることと思います。どうぞ、現在の新鮮な、爽やかな雰囲気を大切にしながら、学校経営を力強く推進ください。

「山形市教育大綱」の基本理念は「郷土を誇りに思い いのちが輝く 人づくり」です。この基本理念のもと、今年度も「感動・感謝・信頼」を学校教育のキーワードとして展開してまいります。とりわけ、各学校の教育活動や学校経営が機能するための根幹は、何と言っても「信頼」です。子どもの、保護者の、地域や社会の信頼、そして、足元の教職員の信頼をしっかりと得られるよう、平素の姿勢・努力が肝要です。校長先生方のリーダーシップのもと、確固たる『信頼』を得るためのご努力をよろしくお願いいたします。 (以下略)

〈平成30年4月13日〉